



学校教育目標「進んで学ぶ子」「やさしい子」「たくましい子」

R Y O S Y O
両小だより草加市立両新田小学校
学校だより 7月号
令和6年 7月1日
児童数 457人

両小っ子よ、夢をもて!



校長 帆玉 敬一

早いもので1学期も3カ月が過ぎ、あと14日の登校で夏休みとなります。

今年度の梅雨はあまり雨も降らず、子どもたちが楽しみにしていた水泳学習も順調に実施されています。しかし、熱中症だけは要注意です。子どもたちは学校でも水分を十分に取りながら、学習や運動等に励んでいます。体調管理を万全にし、1学期のまとめをきちんと行ってほしいと願っています。

さて、皆様もご存じのとおり、7月3日より20年ぶりに新しい一万円札、五千円札、千円札が発行されます。新しい一万円札には、埼玉県深谷市出身の渋沢栄一氏が描かれます

この渋沢栄一さんは、開国から昭和初期までの激動の時代において、日本経済の基礎を築き、日本初の銀行を設立しただけでなく、様々な種類の会社設立経営にも携わり「日本資本主義の父」とも称された人です。令和3年にはNHK「大河ドラマ」で、渋沢栄一氏の生い立ち、人生が放映され、ご覧になった方も多いかもしれません。ドラマですので作り手の解釈、視点による脚色はあろうかと思いますが、その人生は農民の生まれから尊王攘夷の運動家、江戸幕府の幕臣、明治政府の官僚、財界をけん引する実業家へと躍進を遂げた人物として有名です。今回はその渋沢栄一氏の「夢七訓」を紹介します。この「夢七訓」では、「夢」をもつことがいかに大切であるかが語られています。

「幸せ」な人生は、「夢」をもつことから始まる。だから「夢」をもつことが大切だと渋沢栄一氏は述べています。

すでに大きな「夢」をもっている子も、これから素敵な「夢」をもつ子もいるでしょう。子どもたちには「自分がやりたいこと」を見つけ、自分がどんなことができるようになっていきたいかという「1年後の自分の姿」の実現に向けて計画を立て、努力し続けることの大切さを学ばせたいと考えています。

「夢七訓」

夢なき者は理想なし。

理想なき者は信念なし。

信念なき者は計画なし。

計画なき者は実行なし。

実行なき者は成果なし。

成果なき者は幸福なし。

ゆえに幸福を求むる者は夢なかるべからず。



また、両新田小学校の教職員は、常に子どもたちを励まし、褒めて、見つめて、認めながら「優しい言葉」「温かい言葉」溢れる環境で育て、明るい笑顔と継続する力が向上する児童を増やすべく日々教育活動を行っています。保護者の皆様や地域の方々、学校運営協議会の皆様も是非「褒めて伸ばす」「優しさ溢れる」教育活動にご協力いただければと思います。今後とも本校の教育活動にご理解・ご協力賜りますようお願い申し上げます。